

ものづくり班

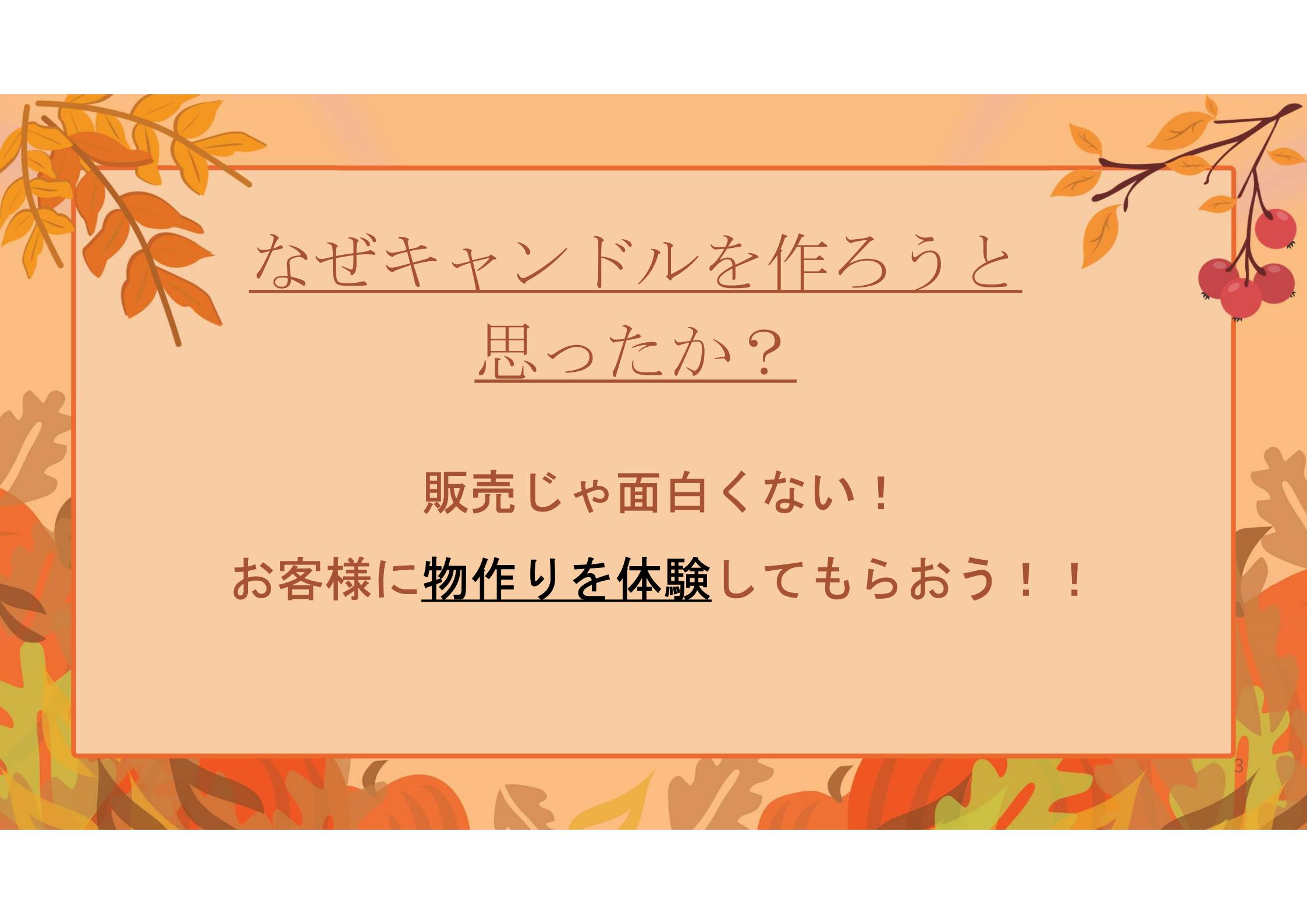
小坂、小山、高濱、中島、藤林
担当教員（田宮先生）



私たちの班は !!

オオサンショウウオを
モチーフとした、
体験型のキャンドル作りを
行っている班です！





なぜキャンドルを作ろうと
思ったか？

販売じゃ面白くない！

お客様に**物作り**を体験してもらおう！！

何を体験してもらう？

生野はオオサンショウウオが有名



オオサンショウウオといえば川



水関連の物にしよう



ジェルキャンドルなら透明で、キャンドルの中にオオサンショウウオのミニオブジェを入れることによって生野の綺麗な川を再現できるんじゃないかな！

ジェルキャンドルの問題点

- ・ ジェルキャンドルはひとつ作るのにお金がかかる。
- ・ ジェルを溶かす時の安全面×
- ・ ジェルの熱に中のミニオブジェが耐えられない。

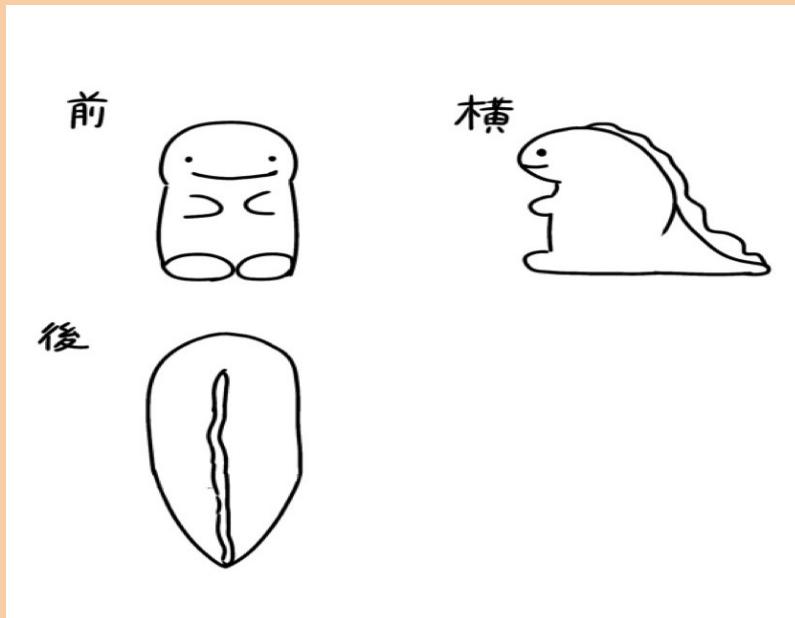
視点を変えよう

キャンドルづくりに視点を変えよう！



キャンドル 자체をオオサンショウウオの形に
したら面白いんじゃないいか!!

オオサンショウウオの模型作りスタート



銀谷祭り参加



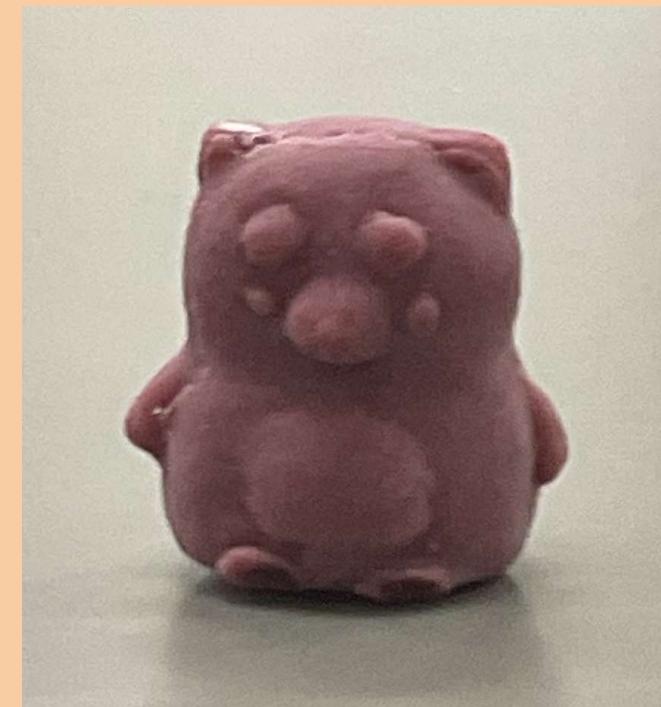
課題

- 作業効率が悪い。
- お客様に作ってもらったキャンドルを型から外す時に壊れてしまった。
- お客様を心配させない雰囲気を作れなかった。
- お客様が来ず暇な時間を持て余してしまった。
 - 呼び込みができなかつた。

改善策

- 役割分担をあらかじめしておく
- 呼び込みに力を入れる
- 無駄な作業を減らし 作業効率UP↑
- 失敗した原因を明確にさせて次に活かす

わだやマーケットに向けて



わだやマーケット参加



最終売上

銀谷祭りとわだやマーケット合わせた売上目標

30個

実際の売上

11個

ビジネスとして成功させるために

①小さく始める

最初から大きくやらず、テスト感覚で。失敗しても学びになる

②お金より経験を重視

高校生の強みは時間と挑戦できる立場。スキルと実績を作る。

③ネットを活用する

SNS、動画、無料ツールを使えば低成本で発信・販売できる

④大人や仲間に相談する

先生、親、起業家の発信などから学ぶと失敗を減らせる。

Thank
You